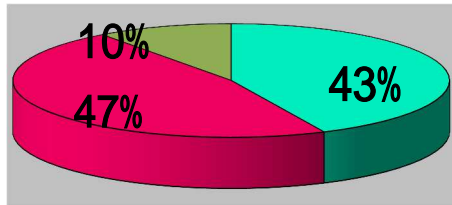


小売業・飲食店における職場の安全衛生自主点検結果

対象：横須賀監督署管内（横須賀市、逗子市、三浦市、三浦郡葉山町）の
第3次産業（小売業、飲食店）の事業場に対して実施 回答205事業場
実施時期：平成26年12月～平成27年5月

企業の本社や基幹となる支店が他にありますか。（有効回答179事業場）

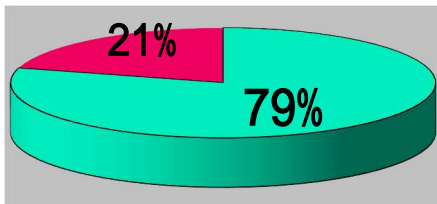


- この店舗だけ 77事業場
- 本社が別にある 84事業場
- 管理している支店がある 18事業場

半数以上は本社や管理している支店があると回答している。

ア パートタイマーやアルバイトを含め、家族以外の従業員を雇っていますか、今後雇う予定はありますか。

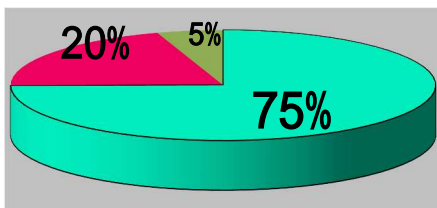
（有効回答203事業場）



- はい 161事業場
- いいえ 42事業場

約80%の事業場で、家族以外の従業員（労働者）を雇って事業を行っている。

イ アで「はい」と答えた方について、労働保険（労災保険）に入っていますか。（有効回答159事業場）

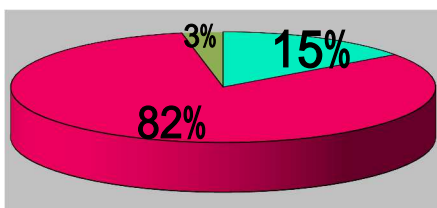


- はい 119事業場
- いいえ 32事業場
- わからない 8事業場

75%が労働保険（労災保険）に加入している。

ウ 平成20年以降に従業員が、仕事が原因となって負傷し、又は、病気になったことがありますか。

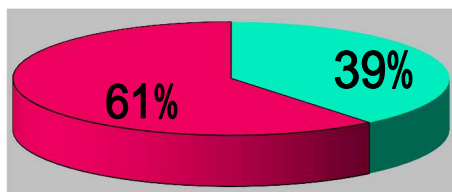
（有効回答163事業場）



- はい 24事業場
- いいえ 131事業場
- わからない 5事業場

約6年間に、約2割の事業場で、労働災害が発生している。

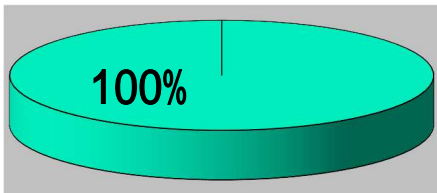
エ ウで「はい」と答えた場合、その従業員は仕事を4日以上休みましたか。（有効回答23事業場）



- はい 9事業場
- いいえ 14事業場

労働災害を発生させた事業場のうち、約4割は休業を4日以上するような大きな労働災害であった。

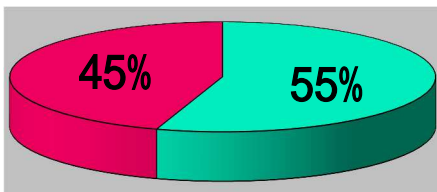
オ ウではいと答えた場合、従業員が負傷したこと（災害）の原因を検討し、発生を防止する対策を決め実行しましたか。（有効回答 20 事業場）



■ はい 20 事業場
■ いいえ 0 事業場

労働災害を発生させた全ての事業場において、原因を検討し、その発生を防止する対策が講じられている。

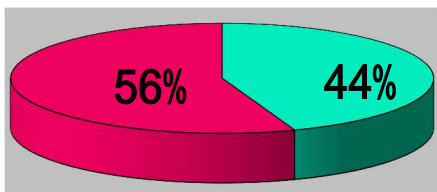
カ オで原因の検討をする時に、施設管理者・商店街組合・飲食店組合・機械メーカーなどに相談しましたか。（有効回答 20 事業場）



■ はい 11 事業場
■ いいえ 9 事業場

労働災害を発生させた事業場の半数以上が、施設管理者や機械メーカー等に原因の検討をする際に相談を行っている。

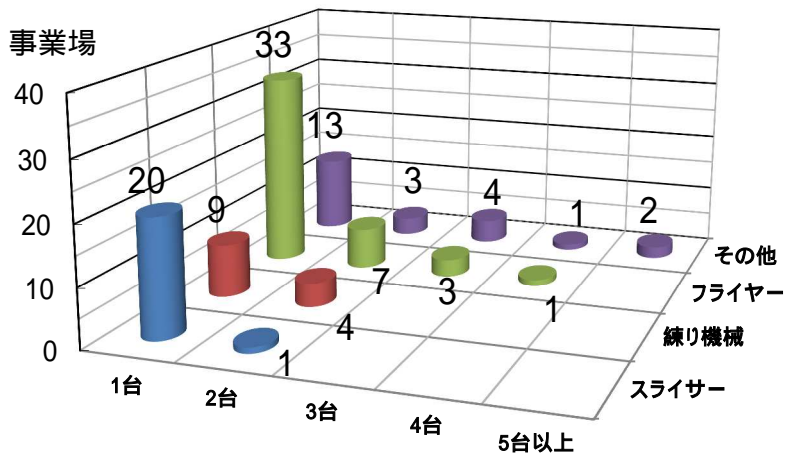
キ カで相談先がないときに、専門的機関や専門家の案内をしてほしいと思いますか。（有効回答 18 事業場）



■ はい 8 事業場
■ いいえ 10 事業場

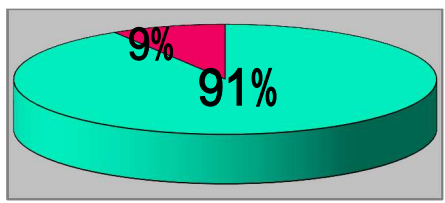
約 4 割は専門機関や専門家を案内して欲しいと思っている。つまり、専門家のアドバイスが必要であると感じている

ク 食品や材料を加工する機械は何台保有していますか。（複数回答可）



災害発生が多いとされる食品加工機械について、保有台数を調査したもの。魚や肉等を揚げるためのフライヤーが 44 事業場で一番多く、肉などを切るスライサーも 21 事業場と次いで多い。パンの生地などを練る、練り機も保有している事業場が 13 事業場ある。

ケ.クの機械には危険な箇所にカバーなどをつけていますか。（有効回答 57 事業場）

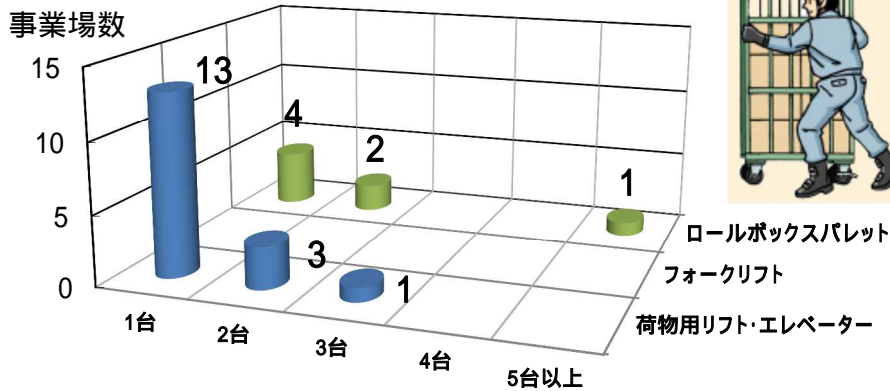


■ はい 52 事業場
■ いいえ 5 事業場

食品加工機械は、稼働中に手等の身体の一部がはさまれ巻き込まれるのを防ぐため、可動部にカバーを取り付ける必要がある。アンケートでは約 9 割近くの事業場で、これが取付けられている。

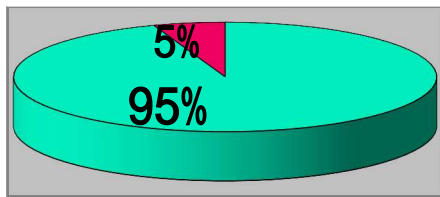
コ 材料などを運搬するための機械がありますか。(複数回答可)

これが、「ロールボックスパレット」で、かご車とも言う。



運搬機械として、荷物用リフト・エレベーターを有しているのは17事業場、ロールボックスパレットを所有しているのは7事業場である。フォークリフトを所有している事業場はない。

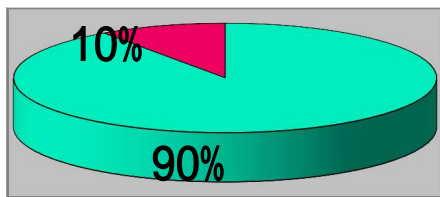
サ 機械の動作やカバーなどの定期点検をしていますか (有効回答 73 事業場)



- はい 69 事業場
- いいえ 4 事業場

食品加工機械や運搬機械の動作やカバーなどの定期点検を、95%の事業場で実施している。

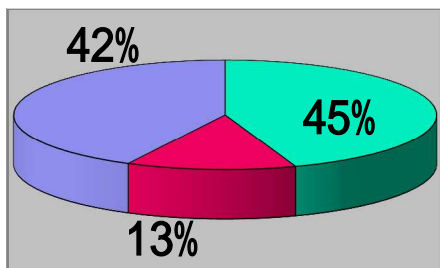
シ 機械設備の操作方法や作業方法について従業員に教育していますか (有効回答 72 事業場)



- はい 65 事業場
- いいえ 7 事業場

食品加工機械や運搬機械の操作方法や作業方法について、90%の事業場で従業員に教育をしている。

ス 労務管理・災害防止の担当者は誰ですか (有効回答 139 事業場)

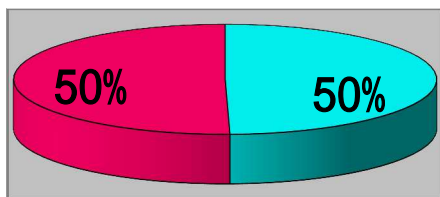


- 事業者自身 62 事業場
- 担当従業員がいる 18 事業場
- 本社等の担当者 59 事業場

労務管理・災害防止の担当者は、事業者自身が45%で最も多く、次いで本社等の担当者が42%、担当従業員がいる事業場は13%に止まっている。

セ 横須賀労働基準監督署が近くで労働条件管理や労働災害防止の講習会を開催した場合、参加を希望しますか。

(有効回答 139 事業場)



- はい 69 事業場
- いいえ 70 事業場

横須賀労働基準監督署が労働条件管理や労働災害防止の講習会を開催した場合、参加を希望すると回答した事業場は、ほぼ半数に止まっている。

小売業・飲食店における安全衛生管理の問題点と対策について

過去5年間に労働災害が発生している事業場は約8割あるが、発生させた全ての事業場で再発防止対策が講じられています。

一方で、労働条件管理や労働災害防止の講習会への出席を希望しない店舗が約半数あり、コンプライアンスや安全衛生意識にかける事業場が多くみられます。

もっともこの状況は、各店舗とも人手が少ないため、今の仕事をこなすことで精いっぱいであり、時間に余裕のないことも一因と思われます。

また、労務管理・災害防止の担当者を置いているのは、わずか13%で、本社の担当者や事業者（社長）が自ら行っていることから、9割近くの現場において実務を行う安全担当者がいないということになります。

また、全国的に小売業において、転倒災害、台車（ロールボックスパレット含む）に係る行動災害が多くみられます。

以上のことから、既に発生した労働災害の対策にとどまらず、安全管理を担当させる安全推進者を事業場に配置し、同業他社で多く発生している転倒災害や台車に係る災害防止を中心とした取組みを行うことが重要です。

以下のツールを参考に各種災害防止の取組みをお願いします！

小売業・飲食店の労働災害防止対策ツール

安全推進者の配置等に係るガイドライン

安全管理者や安全衛生推進者の選任義務のない業種において、安全推進者を配置し、その者に労働災害を防止するための一定の職務を行わせることが示されています。



安全推進者の配置等に係るガイドライン

検索

STOP! 転倒災害プロジェクト

休業4日以上の災害で一番多いのは転倒災害です。このことを受けて、厚生労働省では特設サイトを設けて、転倒災害防止の様々な情報を掲載し、転倒災害防止を推進しています！



STOP! 転倒災害プロジェクト

STOP! 転倒

検索

ロールボックスパレット使用時の労働災害防止マニュアル

「ロールボックスパレット」による労働災害が多く発生していますが、安全に作業するための、方法について詳しく掲載されています。



ロールボックスパレット 災害防止

検索

職場のあんぜんサイト

災害事例、災害統計、安全衛生関係法令通達等が掲載されています。安全衛生管理の担当者は必見です！



職場のあんぜんサイト

検索